

2011年度

科目名	メディア文化論				
担当教員	池谷 洋二				
配当	人社3			コード	23080
開期	後期	講時	火曜日3限	単位数	2
授業テーマ	メディアの歴史・現状を把握、理解し、情報の読み解き方、活用方法を学びます。				
目的と概要	社会の成熟に伴い、家族が茶の間で1台のテレビを囲む「サザエさんの世界」は過去のノスタルジーになりました。同時にITの出現により、メディアの世界は大きな転換期を迎えています。情報が大量にあふれ、未消化のまま垂れ流されていく中で、自分に役立つ情報を主体的に取捨していく術と一緒に考えていきましょう。毎回のテーマとは別に、随時日々のニュースを取り上げ、メディアを理解するうえでの生きた教材とします。長い間新聞記者をしてきた私の体験談を交えながら、わかりやすい授業を目指します。				
成績評価法	平常点(授業時の発言等)60%、期末レポート40%				
テキスト	特になし。				
参考書	特になし。適宜資料を配布し、参考文献を提示します。				
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	新聞、テレビ、インターネットなど身の回りのメディアを通じて、日々のニュースに関心を持ってください。				
講義計画					
第1回	概論	授業の進め方。メディアとは仲介者。多数意見は正しい？			
第2回	メディアの変遷	メディアの歴史から社会が見える			
第3回	情報と社会	もし、メディアがなかったら？			
第4回	メディアの役割	メディアの社会的責任とは			
第5回	戦争とメディア	報道・表現の自由が持つ意味			
第6回	スクープ	なぜスクープが必要か			
第7回	小論文指導	情報処理の実践。就活にも役立つ小論文のツボ			
第8回	過熱報道	テレビレポーターは頭が悪い？			
第9回	メディアと人権	社会の成熟とメディア			
第10回	ニューメディア	インターネットの登場がメディアを変えた			
第11回	メディアの危機 1	第4の権力と四番目の権力			
第12回	メディアの危機 2	崩壊したビジネスモデル。新聞・テレビが消える日			
第13回	メディアの危機 3	ネットの落とし穴。民主主義が危ない			
第14回	リテラシー	大量の情報といかに向き合うか			
第15回	展望	メディアの明日			